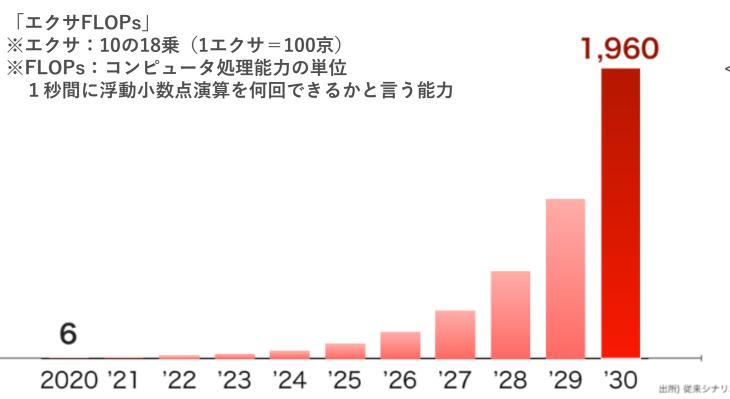
## SoftBank

## AI社会に求められる計算能力と受電容量

- ・AI同士が自律的に協働し最適化する社会が実現すると、必要となる計算能力は劇的に増加。 「国内で2030年に必要とされる計算能力は、20年比で300倍以上の1,960EFLOPsに達する試算
- ・それに伴いGPUなどの計算基盤の大幅な拡充が必要と見込まれ、必要となる受電容量も増加。 「技術革新と省エネ効果を考慮しても、2030年には約4GWに達する可能性もある





<電力効率向上を加味したDC必要受電容量>

4.2GW

大型火力発電 6基分相当

出所) 従来シナリオ: 第5回 半導体・デジタル産業戦略検討会議(経産省)を元に作成(現在の計算負荷の増大傾向を前提とする) 新シナリオ: 従来シナリオをベースに生成AIの普及を前提とした各種公開情報を元に当社推計

## データセンターの役割

- ・新たな技術と共に顧客ニーズは変遷、これに伴い求められるデータセンターの役割・用途も変化
- ・AIの構築・運用のため、従来の受電容量を遥かに超えるギガワット級AIデータセンターの必要性が高まっており、これには兆円規模の投資が必要であると試算される

2000年~ 2020年~	2025年~
分類 インターネット ハイパースケー	ラー AI
主な用途 Web閲覧・メール クラウド	AI学習・推論
受電容量 2MW~ 20MW~	200MW~
特徴東阪集中	地方

## これからのデジタルインフラのあるべき姿

資源の少ない我が国においては電力消費の分散と脱炭素電源の活用が間違いなく必要。 L都市集中型では電力逼迫に加え、地方のデジタル格差を助長し経済成長が限界を迎える恐れ。 ・地方分散により電力消費の平準化と同時に、地方創生(産業創出/人材育成など)・人口一極集中是正を促す。

